

世界1の日本の高速鉄道の技術を売り込め！

～Japanese High Speed Train “Shikansen” Exhibition～

現在、急激に成長するアジアの新興国を中心に、世界中でインフラ整備の需要が高まっています。特にインド・タイ・マレーシアの大規模な高速鉄道計画を巡っては、日本だけでなく、中国や欧州各国の売込合戦が熱を帯びています。

日本では、水道・鉄道・電力などの日本の優秀な技術を輸出する大きなチャンスだとし、官民一丸となった取組みが行なわれています。

今回、シンガポールとマレーシアを結ぶ高速鉄道の建設計画に日本の新幹線を売り込もうと、シンガポールで初めてとなる新幹線のセミナー・展示会が開催されましたので報告いたします。

1. 「High Speed Rail Seminar」「Japanese High Speed Train Exhibition」の概要

2015年1月、シンガポール・マレーシア高速鉄道構想への日本の受注獲得を目指した新幹線PRセミナー「High Speed Rail Seminar」が開催されました。セミナーでは、シンガポールの政府関係者や報道関係者約100名に対して、飛行機やモノレールなどと比較しながら新幹線を売り込むプレゼンテーションが行われました。



新幹線の模型展示コーナー

また会場では一般向けの展示会「Japan High Speed Train Exhibition」も開かれ、日本から持ち込んだ実物大の新幹線の運転シミュレーション体験ができるコーナーには、3時間待ちの長い列ができていました。他にも観光情報やお土産コーナーが設けられ、多くの来場者で賑わいました。

マレーシアのクアラルンプールでも同様のイベントが昨年11月に開催されています。今回のイベントは日本の新幹線の魅力を一般の人に広く伝えるいい機会になったように思いました。

2. 他国にはまねできない安全性

日本の新幹線の最大の特徴は、高い安全性と運行の正確さです。今回のセミナーでは、日本の新幹線が営業開始以降50年もの間、乗車の死亡事故を1人も出していないこと、東海道新幹線の年平均の遅延時間が1分を下回っていることが紹介されると、来場者からは称賛の声が上がりました。

日本の新幹線の乗車体験が訪日旅行の楽しみの1つになるほど、新幹線は外国人に人気があります。内装のデザイン・スピード・接客などライバル国に差をつける新幹線の魅力を伝えることはインフラ輸出の売込だけではなく、観光客の増加にもつながっていくこと

でしょう。

3. アジア各国の高速鉄道計画

総延長 340km で両都市間を 90 分で結ぶシンガポールとマレーシアの首都クアラルンプールを結ぶ高速鉄道計画は、総工費 170 億ドル(シンガポールドル、約 1 兆 4,960 円、1 ドル=88 円) にも達する巨大プロジェクトです。2015 年中に実施予定のこの建設工事にかかる入札には今回売込みを行った日本以外にも、中国やドイツの企業が関心を示しており、激しい競争になることが予想されます。

建設工事の受注に成功すると、鉄道の保守や人材教育といった事業においても海外展開できるチャンスが広がっていきます。

この競争を勝ち抜くためには、日本の誇るべき新幹線の技術を日本全体が一丸となり、日本の技術の高さをアピールしていくことが求められています。新幹線を足掛かりにますます日本の技術力の声価が高まることが期待されます。

■ 概要

名称	High Speed Rail Seminar Japanese High Speed Train Shinkansen Exhibition
主催	国土交通省、経済産業省、外務省、JETRO、日本鉄道車両輸出組合、 海外鉄道技術協力協会、JNTO
日程	2015 年 1 月 23 日(金)～24 日(土)
場所	Marina Bay Sands Expo and Convention Centre

(宇佐元所長補佐 宮崎県派遣)